

献上桃の郷から生まれた「桃ふく」(福島県桑折町)

- 福島県は、桃やりんごを始め、季節ごとにおいしい果物が収穫されますが、その中でも桑折町の桃は平成6年から毎年皇室へ献上されています。
- 福島県桑折町では、[町のお菓子店「大野屋」](#)さんと桑折町商工会が中心となり、献上桃の郷で育てられた桃を使ったスイーツ「桃ふく」を開発し、販売を開始しました。
- この試みは、「桃ふく」を1つの起爆剤にして、風評の払拭や地域の活性化に繋げることが狙いです。
- 当然、味やパッケージにもこだわっており、[日本橋ふくしま館\(MIDETTE\)](#)で実施したテスト販売で「桃ふく」を購入した方が、「桃ふくをもう1度食べたい」と桑折町まで買いに来てくれたというエピソードもあります。
- 大野屋さんは、3年前に修行を終えた息子さんが戻ってきたのを機に、お店を改修し、ご主人が和菓子、息子さんが洋菓子を担当しています。お二人はライバル関係にあり、お互い切磋琢磨しているというお話もお伺いしました。
- なお、福島県産の果物や野菜については、[モニタリング検査及び生産者等による自主検査](#)により安全性を確認し、その結果についても見える化しています。

